



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda231号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。 作成:高橋絹世 連絡先 048—462—9912

身近な自然を知り守り伝えよう 会員募集中

ホームページ

<http://wako-wakimizu.org/>



1. 2024年6月1日第17回 湧き水の会通常総会 を開催



柴崎光子和光市長、富澤啓二和光市議会議長のご臨席を戴き、高橋公園みどり課課長、中野課長補佐がお出で下さり、多くの会員が集まって、白子コミセンで総会及び研修会を開催することが出来ました。

柴崎市長より、昔から見慣れ親し

んできた湧き水について、特徴を引き出し活動を広めてきたことについてお話し下さり、会員一同を励ましていただきました。富澤議長からは、和光市の抱えている緑

の保全について、緑被率が他市と比較して、わずかに低いとのことを伺いました。実際に、市内各方面で開発が進んでいることを会も実感しています。高橋課長からは、「大坂ふれあいの森の公有地化」が告げられ、都市部の一画、湧水が流れる緑地が市有地になったことをお知らせいただきました。白子大坂ふれあいの森の会と協力して進めてきた「湧き水と緑、貴重な花の大坂ふれあいの森」を、もっと多くの方々に知っていただきたいと思います。

第17回通常総会に入り、堀文雄氏が議長に選ばれ、議事が進められました。

2023年度は、富澤湧水を示す看板が作られ、「ぼくのゆめはわき水になること」という紙芝居と絵本が出版、その利用が進んでいます。10年ぶりの「湧き水環境フォーラム in 和光」の開催で改めてフォーラムの重要性に気付きました。今後も開催し広める機会としたいです。今年度は「白子湧水群の特徴を表示できる看板」と、絵本の増刷200冊とその活用、緑と湧き水の保全活動、継続している教育機関への協力、様々なイベントへの参加、などを計画・実施しています。会員の皆様の定期活動やイベントへの協力が重要です。また有名な湧き水や雄大な自然を訪ねるバス研修会も楽しい活動として続けていきましょう。

研修会として高橋勝緒氏が、和光市のニホニウム通りの話からはじまり、湧き水の会の歴史を改めて紹介し、現在の活動に引き継がれていることを解りやすく発表しました。



引き続きの意見交換では、湧き水調査を10年前実施し、再度調査が必要ではないか、と
のご意見、特に白子地区の開発の速さに関心があり、富澤議長、公園みどり課の方からもご
意見を伺うことが出来、大変有意義な研
修会となりました。



・自然環境維持について

(高橋勝緒氏の投稿)

総会後の研修会での議論の焦点は、
「開発によって減少するみどりをいかに
したら残せるか」であったように思う。

後日考えたこととして、我々の成しうる行動の一つは、「自然環境の維持を重視する議員を増やすこと」かもしれない。民主政治において、市議会、県議会、国会での意を共にする議員を増やすことは常套であるはず。

現代の市議会選挙での主張では、「子育て」と「福祉」が圧倒的である。ここで考えると、子育てにしる福祉にしる、その根底に「自然環境の維持」があるはずである。雑ばくな都市環境では、子育ても福祉も浅いものになる。「身の回りの自然の豊かさ」は、空気や水のごとく、その重要性を実感しにくいかもしれない。でも、きっと、それなくして子育てや福祉の充実はないはず。それを認識した治世が望まれる。

2. 白子大坂ふれあいの森の会の総会 5月15日 実施

大坂ふれあいの森が公有地となったことが報告されました。

5月15日にはふれあいの森で会の総会を開き、公園みどり課高橋課長、中野課長補佐が来られました。会長堀文雄氏からは、資料を基に、会の前年度の活動および2024年度の事業予定及び予算について報告がありました。

白子大坂ふれあいの森の会の活動は、毎月第3水曜日が定期活動日です。会長はたびたび見回り、ふれあいの森の整備をされています。湧き水が増えてきた所では、水路を長く作り、また木製の渡り用の橋を架けるなど、通れるような工夫がされています。



2023年白子小湧き水観察会

市のふれあいの森としての重要性が増し、市民や学校の地域学習でも活用されるよう広めたいと思います。会員の方々にも、ご協力をお願いいたします。



川越街道大坂通りに面したふれあいの森

3. 水路奥に「白子湧水群の富澤湧水」の立て看板ができました



湧き水の会の総会・研修会の後あわただしい時でしたが、当日出来てきた板看板を、湧き水の流れに沿った場所に、パネルと共に設置することが出来ました。丁度「テレビ東京 よじごじ Days」の取材があるとの情報があり、急遽行いました。

放映日時 6月18日(火) 15:40~16:54

水辺の雰囲気に入れ込んで、読みやすい位置に移りました。ぜひ立ち寄ってください。

6月3日には、水辺の前で、ゆめの木保育園の園児向けに、「紙芝居と観察会」を行う機会がありました。

保育園園児の観察会は、今年も継続しています。



4. 外環上部広場でイベント「わころんだ」に参加しました

5月19日は晴天に恵まれ、ハコノウエひろば実験イベント2「わころんだ」@外環上部丸山台広場に参加し、新倉ふれあいの森の竹細工体験と、湧き水紙芝居を披露しました。杉浦正衛さんが来て下さり、久々の竹切り体験、および、竹で手作りした「コロコロ転がし遊び」を披露し、「湧き水紙芝居」も読み聞かせしました。大変大勢の親子連れに人気があり、どちらも大盛況でした。

このイベントは、「公共空間利活用プロジェクト」として、まちなかに存在する公共空間を舞台に、多様な活動やサービスによる新たな利活用を検討する事業です。初めてこの広場に入りました。奥行きが非常に広く、イベントには適しています。通常は空き地として使われていないところです。今回初の「大音響でストリート演奏」も行って、響き渡っていました。

今後和光にふさわしい場所として利活用され、楽しい所として多くの方々に生かされる様、このプロジェクトがきっかけになるといいですね。



5. 2024年7月～の予定表 特に富澤湧水の保全日は土曜又は日曜

新倉ふれあいの森、大坂ふれあいの森の定期活動の表ですが、予定表には観察会やイベント、大学との協働、夏休みの特別講義も含めます。

予定	全体会	新倉ふれあいの森	大坂ふれあいの森
7月		2日（七夕用竹切り）10時 20日（第3土）定期保全	17日（第3水）大坂ふれあいの森の 斜面上部の笹除去等
8月	5日（月）13:30 市役所 教員研修会の講義	17日（第3土）新倉ふれ あいの森ボランティア体験	14日（第2水）大坂ふれあいの森 ボランティア体験
9月	12日（木）お茶 の水女子大地理学 巡検	<u>21日（第3土）定期活動</u>	18日（第3水）大坂ふれあいの森保 全活動

富澤湧水の保全活動日についてお知らせ

富澤湧水のある所は広く駐車場になっています。この駐車場は、日曜日は、ほとんど使われず、当会の活動が広く利用可能です。このことから、今年3回（8月、9月、12月）日曜日に富澤湧水の活動を行うことと致します。表を参考に活動にご参加ください。

富澤湧水の今後の活動日の表

2024年富澤湧水の保全日		
7月	13日（土曜日）	
8月	18日（日曜日）	夏のボランティア体験
9月	8日（日曜日）	第2日曜日です
10月	12日（土曜日）	
11月	9日（土曜日）	
12月	8日（日曜日）	第2日曜日です

8月のボランティア体験は、通常活動日を変更してボランティアを迎えます。

9月、12月の第2日曜日への今回の変更は、富澤湧水の駐車場利用を試みるためです。

日曜日にはここを訪ねる方も多いため、会の皆さんもぜひご協力ください。